

雇用者、労働者が知っておきたい

アメリカの 雇用ルール

P.03

世界遺産を歩く

イエローストーン国立公園 P.08

自由の女神像 P.14

女性起業家&
プロフェッショナル P.09

専門家に聞く
帰国生受験の
傾向と準備 P.15

プロテニスプレイヤー
錦織 圭 P.20



3 FEATURE STORY

雇用者、労働者が 知っておきたい アメリカの 雇用ルール



8 世界遺産を歩く 齋藤春菜
イエローストーン国立公園



9 FEATURE STORY

女性起業家& プロフェッショナル



14 世界遺産を歩く 齋藤春菜
自由の女神像



写真提供：NPS Photo

15 FEATURE STORY

専門家に聞く 帰国生受験の傾向 と準備



20 PEOPLE SPECIAL

プロテニスプレイヤー 錦織 圭



©Haruna Saito

発行元：株式会社システムサポート
編集・制作：吉田沙織、齋藤春菜、柴田早央里、森原潔

雇用者、労働者が知っておきたい アメリカの雇用ルール

人材採用時や、雇用中の雇用主と従業員、または従業員同士の付き合いなど、アメリカで働くうえでビジネスルールは日本と異なる部分が多い。日本人がアメリカの現地社員とともに働く際に、知っておくべき労働マナーやルールについて、実際の例を交えながら解説する。

取材協力：吉田 大（ブラックベルト・リーガル弁護士法人 代表弁護士）
www.blackbeltlegal.com Email: client@blackbeltlegal.com

アメリカの雇用の根底にある Employment-at-will とは

アメリカでは、ジョブ・ディスクリプションやオファーレター、従業員ハンドブックなどに多くの場合「Employment-at-will」という文言が登場する。これは、雇用主と被雇用者との関係性を示すもので、日本語に訳すと「任意に基づく雇用」となる。もう少し分かりやすく表現すると、「この雇用は雇用主と被雇用者との双方の自由意志 (will) によって成り立っている」ことを示す。要するに、期間を定めた雇用契約ではなく、雇用主および被雇用者は、いついかなる時でも、原則的には理由の有無に関わらず解雇もしくは退職ができるという雇用形態だ。

Employment-at-will での解雇/退職

| With cause (解雇事由あり) | Without cause (解雇事由なし) |
|--|--|
| 雇用者は、従業員の不正や不法行為をしたことなど、さまざまな理由に基づき解雇させることができる | 明確な解雇/退職事由がなくても、どちらかに雇用または労働の意思がなくなった時点で解雇/退職できる |
| メリット: 雇用主側も被雇用者側も、いつでも好きな時に解雇/退職できる デメリット: 特に優秀な人材の流動性が高いため、会社側は優秀な人材の長期的な雇用の継続が困難。また、従業員は自分の意思や会社の業績に関係なく解雇される可能性がある | |

日本の場合、長期的な視点で人材を採用・維持するケースが基本となっているが、アメリカの場合はこの雇用概念があるために、人材の流動性が極めて高い。ただし逆に考えると、優秀な人材の流動性が高いため、条件とタイミングなど、チャ

ンスがあればいい人材を確保することができるとも言える。ここが日米での雇用形態の大きな違いだ。Employment-at-will という概念は、アメリカにおける雇用形態の大原則となっていることを、まずは念頭に置いていただきたい。



日本人が陥りがちな落とし穴は At will に当てはまらない例外

難しいのは、At will だからといって雇用主が言葉通りにいつでも解雇していいかということ、決してそうではないということ。At will の原則に基づく解雇には、適用されない例外がいくつかある。知識不足や誤った判断で従業員を解雇してしまい、のちに訴訟に発展したケースが日系企業では多く見られる。日本の労働概念と同じ感覚で従業員に接していると、思わぬ落とし穴があるので注意が必要だ。

実例①

「わが社は社員を家族のように思って雇用関係を大事にしている。長期的に皆で頑張っていこう」などと契約が継続するようなことを匂わせておいて、解雇する。

ポイント

At will ではなく長期的な雇用を約束した Implied Contract (黙示契約) と主張されるリスクがある。実質的に契約書を交わしていなくても、日本のスローガンをそのまま伝えたり将来的な報酬の話をしたりと、At will を否定するような言動を繰り返すと長期雇用であったと判断され、解雇が法律違反と主張されかねない。



実例②

会社の違法行為や不正を当局に伝えようとした従業員を解雇する。

ポイント



連邦法および多くの州法にある Whistleblower Protection Act (公益通報者保護法) の違反になる。会社の指示に背いて違法な行為を拒否したことを理由とした不当な解雇や配置転換、減給なども原則として違法。



こういったトラブルは、特に日本から来た駐在員や役員などに多く見られる。会社として良かれと思って伝えた従業員へのメッセージが、誤解を招くことも少なくない。日本とは根本的に異なる現地の従業員とのコミュニケーションには注意が必要だ。自信がない場合は、アメリカの法律と文化を理解している弁護士などに通訳を頼むことをおすすめする。危うい言動などは省いて意識して通訳してくれるので、安心してコミュニケーションを取れるだろう。

また、勤務態度が悪いことを理由とする場合は突然の解雇は避け、事前の

Notice を与えて客観的な解雇自由の証拠を積み重ねることがポイント。「〇月〇日の行動に対して、何日以内に改善されない場合は解雇の可能性がある」といった趣旨のレターを出して受領の署名をもらい、それでも改善されない場合に解雇へ踏み切る方法が訴訟リスクの軽減につながる。

訴訟へと発展する主な要因は「差別」

アメリカでは、雇用主と従業員が採めて訴訟に発展することが極めて多い。その主な主張となるのは、十中八九が「差別的な扱いを受けた」として訴えられるケースだそうだ。

日本ではほとんど見られないのに、なぜアメリカではこんなにも訴訟が多いのだろうか。それは、日本とはまったく異なる歴史的背景によるもの。アメリカには人種や宗教が異なるさまざまな人々が暮らしている。そのため、どうしてもマイノリティの人々が存在し、彼らに対して意識的または無意識的な差別が生まれてしまう。それらの問題を解決し、健全な社会としてすべての人々をフェアに扱うために存在するのが、弱者を保護するための法律だ。アメリカという国の背景を踏まえて行動・発言しないと、トラブルに発展する場合が多々あるので十分気をつけていただきたい。

アメリカの雇用における法律で複雑なのが、国が定める連邦法に加え、各州が定める州法、さらに市や郡が定める法令と、複数の層の法律が存在すること。連邦法は全州で最低限守らなければならないベースラインとなっており、それに上乗せする形で州や市、郡が独自の規則を定めている。市や郡によって大きく異なるので、リモートワークを含めて従業員が勤めているエリアの法律は把握しておこう。

下の表は、差別に関わる根幹の規則の
カリフォルニア州における概要だ。

| 連邦法 |
|---|
| 人種、肌の色、宗教、出身国を理由とする雇用差別を禁止する（公民権法 Title VII） |
| カリフォルニア州法 |
| Sexuality (LGBT)、男女の違い、Gender Expression、結婚の有無、従軍経験の有無などが禁止事例として盛り込まれている ※さらに、市や郡によって追加の規則が定められている場合が多い。 |

差別の有無は明確なラインが引きづらい。当人に他意がなかったとしても相手が差別を受けたと判断し、客観的に差別を主張しうる証拠があれば訴訟リスクは高くなる。日本では話のトピックにしても問題のないことが、アメリカでは差別に値するということが往々にしてある。あらゆるシチュエーションにおいて職場であるという意識を持ち、相手が日本人であっても言動や行動に注意することが大切だ。

実際に訴訟に発展した場合は膨大な証拠集めが必要となり、かなりの時間、労力、コストがかかる。常日頃から大きな訴訟にならないように注意すること。問題が拗れて訴訟へと発展しそうな気配があれば、早期から弁護士と相談して客観的な証拠を集め、訴えられても迅速かつ十分に対応できるようにしておくといい。

シチュエーション別 アメリカのマナー、ルール

採用段階や雇用中、解雇時など、さまざまなタイミングで日本とは異なるルールが存在する。ここではシチュエーションごとに日系企業が陥りやすいトラブルの種を、実例とともに紹介する。

人材採用時

Job Description

アメリカではプロフェッショナル意識が高く、自分のスキルに合った仕事へ応募するので、職務内容が記載された Job Description は非常に重要。従業員を Job Description に記載された業務内容と大きく異なる業務へ従事させることは、雇用問題のリスクを高める。応募するポジションに対して必要とされる能力の詳細や業務内容、期待値などを具体的かつ客観的に明記しておくことが重要。

誰でもできるような曖昧な内容だと、採用見送りとした際に「この内容なら私にもできるのに断られた。判断に差別があ

ったのでは」と突っ込まれる可能性がある
ので要注意。

面接での質問事項

日本では当然のように履歴書に書く項目でも、アメリカでは雇用機会均等法に違反するため、禁じられている場合が多い。採用するかしないかの判断材料として、個人の仕事に対する能力以外の部分で判断することは差別と主張されかねないので、不必要な質問をしないように細心の注意が必要だ。ただし、聞き方によっては問題ないと思われることもある。



| 質問すべきではないこと | 質問しても良いこと |
|--|------------------------------|
| 人種、出身国、宗教、肌の色 | 英語以外にどんな言語を話せますか（読み書きできますか）？ |
| 両親の出身地 | |
| 性別や年齢 | 大学を卒業したのはいつですか？ |
| 家族構成 | |
| 社会保障の受領履歴 | |
| 健康状態（障がいに関する質問も要注意） | |
| ※カリフォルニア州ではさらに、結婚の状態や従軍経験、過去の給与や犯罪履歴（個人使用のマリファナの所持違反を含む）についても原則として質問してはいけない。たとえば、直接的に犯罪履歴を聞くのは NG だが、「あなたが応募したこのポジションに対して、ご自身に何か明確な問題点などがあると考えますか？」といった聞き方なら OK。 | |



採用不採用の判断

日本の企業は長期的な雇用を目的としているため、人柄などの情緒的な部分で判断しがち。しかし、流動性が高く差別を禁ずるアメリカでは、すべての判断は客観的なスキルベースとなる。州によっては、過去の履歴を確認するバックグラウンドチェックによって採用を拒否することはできない場合もある。

たとえばカリフォルニア州では、求職者に犯罪歴があったとしても、仕事内容と関係ない履歴であれば犯罪歴を理由に採用を拒否することはできない。さらにサンフランシスコ郡は、20人以上の従業員がいる場合は候補者の犯罪歴を調べることも禁止されている。

雇用期間中

人事異動、昇進・昇格



能力、適正による公正な判断であることをきちんと説明できれば、差別によって異動させられた、または昇進・昇格できなかったと訴えられる

可能性があるため、注意が必要。

就業規則

雇用主側だけでなく、従業員も規則を



守らなければ解雇される可能性がある。たとえば、法規上必要な休憩時間をとらずに就業を続けることは、多くの場合就業規則違反のみならず、労働法規違反となる。雇用主は会社としてのリスク管理のため注意を促し、改善されなかった場合は解雇を含めた法的処置を取ることがリスクの低減につながる。



SNS

今もっともトラブルになりやすいのがこれ。部下とSNSでつながっている場合、必要以上に干渉すると、ハラスメントやプライバシー違反とみなされかねない。SNSで見た情報を理由に解雇や減給を

するといった行為もリスクが高い。たとえば、競合他社の人がSNSにアップした「うちの製品の方が優れている」といった内容の記事に、部下が「いいね」を押していたという理由だけで減給するのはプライバシーの侵害と主張されかねない。



1番いいのは、会社のつながりで安易にSNSなどで友達申請をしないこと。訴訟になった際に、なぜプライベートを知っているのか、SNSをどのくらいの頻度で見っていたのか、解雇の判断にSNSの内容が関わっていないと言い切れるのか、と問い詰められることがある。無意識のうちにSNSが落とし穴になることもあるので、必要以上のつながりは避けよう。



※本企画の内容は、一般的な情報の提供のみを目的とするものであり、法的助言を目的としたものではありません。雇用に関する法律は州や市、郡により異なりますので、法的行動を起こす際には、必ず専門の弁護士にご確認・ご相談ください。

巷で話題のセクハラに注意

Sexual Harassment

セクシャルハラスメントとは、性的な言動や行動で相手に不快な思いをさせることを意味する。アメリカでセクシャルハラスメントは性差別の一部であり、違法という明確なスタンスがある。日本では見過ごされるようなことでも、アメリカでは訴訟に発展する可能性が高い。

歓迎されない性的なアプローチ、要求、口頭および物理的な行動などが、相手の雇用状態や業務を遂行する能力に著しく影響を与えた場合、セクハラに該当する。また仕事の概念上、必要な業務連絡かどうか判断基準となる。被害者は女性に限らず、最近では約20%が男性からの訴えだそう。

セクハラはボーダーラインをはっきりしていないので、相手を不快にさせる可能性がある言動や行動は取らないことが重要となる。



社内で円滑なコミュニケーションをとるコツ

文・北村祐子

Communication



日本とアメリカ、お国が違えば当然ワークスタイルも異なります。一般的に日本人は共同作業を重視しますが、アメリカ人は個人作業を重んじる傾向にあるようです。

いわゆるアメリカ型では、最終結果の期待値を上司が担当者に伝え、実務は本人に任せ、結果報告を待つという形式が多く採用されています。一方日本型ですと、上司と部下と一緒に作業を進めるので、上司は途中経過の状況もよく分かりますが、対応によっては「自分はマイクロ・マネジメントされている」とネガティブに捉えてしまう部下もいるようです。

アメリカ人部下に「方針は分かったので、あとは自分に任せてほしい」と言われたことはありませんか？ そんな時はこちらが望む結果を伝え、あとは本人に任せてみましょう。ここで重要なのが、一番はじめにしっかりと要望を伝えること。この点を疎

かにしてしまうと、予定と違うものが提出されてびっくり……なんてこともあるようです。不要なサプライズがないようにしたいですね。

また、アメリカで働く際に気をつけたいのが、社内コミュニケーション。日本人同士の会話だと、つい日本語で話を進めがちですが、会話に入れないアメリカ人はおもしろいはずがありません。嫌な思いをさせてしまうだけでなく、不要な不信感を募らせてしまう危険性も。会話はできるだけ英語で進め、その場の全員が参加できるように心がけたいものです。

北村祐子●ルイジアナ大学で MBA を取得後、テキサス州ダラスにある会社で勤務すること17年目。ディレクターとして業務に関わるかたわら、アメリカで働く日本人女性を応援しようと日々模索する。ウェブサイト usfl.com でコラム「輝け！ワーキングウーマン in USA」を連載中。

JOBOT

LET'S FIND YOUR JOB

アメリカでの仕事探しならジョボット!

myjobot.com



生きとし生けるものの楽園 イエローストーン国立公園

ワイオミング・アイダホ・モンタナ州

世界遺産とは●地球の生成と人類の歴史によって生み出され、未来へと受け継がれるべき人類共通の宝物としてユネスコの世界遺産条約に基づき登録された遺産。1972年のユネスコ総会で条約が採択され、1978年に第1号が選出された。2018年7月現在、167カ国で1092件(文化遺産845件、自然遺産209件、複合遺産38件)が登録されている。

あちこちで湧き出る温泉に表情豊かな山野、豊富な水……。植物も動物も鳥類も、そして昆虫類にとっても、あらゆる生き物の楽園であるイエローストーン国立公園は、1872年に世界で初めて制定された国立公園だ。アメリカ最大級の火山地帯に位置するこの公園は、無数の間欠泉や温泉などの熱水現象、渓谷や滝といった起伏に富んだ荘厳な景観美、アメリカ開拓期以前の動植物層を残す手つかずの自然など、類まれな魅力を有している。原始の地球の姿、そして地形や生態系の進化の過程を示す顕著な見本として、1978年には遺産第1号の一つとして、世界自然遺産にも登録された。

3州にまたがる公園の広さはおよそ222万エーカーで、アメリカ国内では最大規模。その敷地の大半はワイオミング州に位置している。公園の80%は森林、15%は草原、5%は水に覆われており、大小約290もの滝があるのも特徴だ。

公園最大の見どころは、熱水現象。ここには500以上の間欠泉があり、その数はなんと世界の半数以上を占めているの

だそう。必見なのが、オールドフェイスフル間欠泉で見られる熱水の噴出だ。1分半～5分間続く噴出は、天を裂くような勢いで106～184フィートもの高さまで熱水が吹き上がる。1～2時間おきに見られるその光景は圧巻。また、園内最大の熱水泉グランド・プリズマティック・スプリングも見逃せない。直径370フィート、深さ121フィート以上ある熱水泉は、濃い碧を中心にエメラルド、黄、オレンジと、外側に向かって鮮やかな美しいレインボーカラーが広がる。このほかにも、白い石灰段丘のようになった温泉が見られるマンモス・ホットスプリングスや、コポコボと泥が吹き上がるマッド・ボルケーノなど、見どころは数知れず。園内の熱水泉はそれぞれ特徴が異なるので、どこへ行っても新鮮な気持ちで楽しめるだろう。

イエローストーンのもう一つの魅力は野生動物だ。ここには67種の哺乳類と285種の鳥類をはじめ、多数の魚類や両生類、爬虫類が生息している。そこかしこで草を食むバイソンはもちろん、エルクやムース、ブラックベア、コヨーテなど、さまざまな動物



豊かな自然に包まれたイエローストーン国立公園には、グリスリーやオオカミといった珍しい動物も



オールドフェイスフルの噴出予想時刻はビジターセンターで確認できる



吸い込まれそうにほど深く澄んだ熱水泉、サファイア・プール

が暮らすこの公園は、まさに生き物の王国。野生動物を見るならレイマー・バレーがおすすすめ。ありのままの生活を送る彼らの姿には、日常を忘れてしまうだろう。イエローストーンでは野生動物たちとの距離が厳密に定められており、必要以上に近づくことは許されない。彼らの姿をしっかりと観察したいなら、望遠鏡を持参しよう。人だかりができていす所には近くに生物がいる証拠なので、注意深く周囲を観察してみよう。

イエローストーンではハイキングやキャンプのほか、サイクリングやボート、釣り、乗馬、冬にはスキーやスノーモービルなども楽しめる。園内を知り尽くしたレンジャーが案内してくれるプログラムもあるので、参加してみたいか。

遺産プロフィール

イエローストーン国立公園

Yellowstone National Park

登録年 1978年

遺産種別 世界自然遺産

<https://www.nps.gov/yell/index.htm>

文/齋藤春菜●物流会社で営業職、出版社で旅行雑誌の編集職を経て渡米。思い立ったら国内外を問わずふらりと旅に出る。その地の文化や人々、景色を写真に収めて歩く。世界遺産検定1級所持。

女性起業家 & プロフェッショナル

日本から単身渡米し、好きな仕事を通じて夢をつかんだ
3人の女性たちの物語。

Text by Keiko Fukuda



New York

人を育てることで
より良い社会にしたい

大澤 直美

NY キャリアアカデミー代表

米 CCE (Center for Credentialing & Education) 認定グローバルキャリアカウンセラー

夢は国連職員だった

群馬県に生まれ育って、高校卒業まで日本、大学入学からニューヨークです。子どもの頃からなぜか社会を良くしたいという思いを抱いていました。それは一体なぜだろうと今になって考えてみると、理由は二つあって、一つは広島と長崎に落ちた原爆の写真を見て衝撃を受けたこと、もう一つはガールスカウトの活動を通じて常に世

界の平和を意識していたことだと思います。そして将来の夢は、ニューヨークにある国連の職員になることでした。

大学でアメリカに来てからの苦勞？ 苦勞はすぐに忘れてしまう性格なのですが、確かに言語と文化の壁はありましたよね。日本の進学校ではそれなりの成績を収めていたのに、英語で勉強する時は日本での倍以上の努力をしなければなりませんでした。その壁を乗り越えることができたのは

自分の努力が半分、残りの半分は周りの人たちの支えがあったからだと思います。

大学3、4年次には、国連本部や国連認可のNGO・NPOでインターンシップやボランティアを多数経験し、国連の内定もいただきました。しかし、国連を中から見ると、働き方が自分の性分には合わないかもしれないと思い始めました。さらに大学の4年間で日本を離れていた間に、世界の前に母国日本のために何か自分にできることがあ



「人の成長が見られることがグローバルキャリアカウンセラーの醍醐味」と語る。支援した大学生と一緒に

るのではないかと考えるようになっていました。一言で言うと、心境の変化ですね。そこで、日米間の教育プログラムを主に手がけるコンサルティング会社に就職、さらに2年後に(株) マイナビに転職しました。

社会人10年で独立

グローバルキャリアカウンセラーは国際人材育成のプロフェッショナルです。「企業は人」という言葉がありますね。でも結局、「すべては人」だと思えます。人を育て、人を良くすることで、人の集合体である社会が良くなると信じてこの仕事に取り組んでいます。国連には入りませんでした。より良い社会にしたいという自分の軸は今も変わっていません。

仕事を通じて手応えが感じられるのは、支援させていただいた学生の内定が決まったり、人材に興味を持って人事の仕事に就いたり、また、私のようにキャリアカウンセラーになりたいというフィードバックをいただいたりする時ですね。商品売るビジネスではないですが、人が成長していく姿が見られることが醍醐味だと思います。こうして、1万人以上の学生を支援させていただき、社会人になって10年で独立しました。

前の会社とは現在もパートナーシップ関係にあります。社員ではなくなりましたが、外からその会社のビジネスを応援させていただいています。会社員時代は、好きな仕事だったし、裁量権もありました。何か不服があったかと聞かれるとそれはなかったんですけど、会社員だと一つの会社の枠にとらわれてしまう、つまりリミットが決まられてしまうということはあったかと思えます。その枠を越えて活動がしたいと思っていました。私の性格をよく知っていた上司や同僚は、私の独立に対して「本当に残念だけど、これからはパートナーとしてお互いに前進していきましょう」と送り出してくださいました。前職の皆様には心から感謝しています。

また、個人的な事情ではありますが、フルタイム働きながら2人の子を育てていたため、独立した方が、より効率的に子育てと仕事ができそうだったことも起業の理由の一つです。

幸せは常にそこにあるもの

NYキャリアアカデミーを起こしてからは、相談する上司はいなくなりました。自由と引き換えに責任を負うことになったわけですが、必要な時は周りの方々に力になってもらっています。会社員時代以上に、人間関係の大切さを実感しています。

また、私の場合、起業の理由は経済的な成功を目的にしたものではありませんでした。自分やスタッフのキャリアをディベロップしながらキャリア支援を提供していくという考えが根本にあります。ですから、世間にお伝えできるような、何年までに年商いくらといった目標はありません。時間がかかっても、サービスのクオリティとクオンティティを高めていくことを大切にしています。

スタッフは現在、私を入れて7名。うちワーキングマザーは6名です。全員がフルタイムで働いているわけではなく、それぞれが理想とするワークとライフのバランスを考え

て、仕事に取り組んでいます。週30時間働きたい人もいれば、それ以上の人がいてもいい。今の会社でそれぞれが描く働き方を実現してほしいという気持ちでいます。

これからアメリカで夢を追いかけてしようとしている人に伝えたいのは、心や精神を大切に行動してほしいということです。アメリカンドリームと聞くと経済的成功をイメージする人が多いかもしれませんが、お金があるイコール幸せとは限りません。お金がなくては生活していけませんが、一方で、お金を持っていても幸せを感じられないという人も見えました。幸せは手に入れるものではなく、常にあるものだと考えます。物の見方や心のあり方次第で、人生の満足度は大きく変わってくると思うんです。皆さんに幸せを実感できるような人生を送ってほしいと望んでいます。

NY キャリアアカデミー

<http://www.nycareeracademy.com>

PROFILE

ニューヨーク州立ビンガムトン大学政治学部を卒業後、コンサルティング会社に入社。2年後に転職した(株) マイナビでは米国法人現地責任者を務める。2016年に独立し、留学、キャリアアドバイジング、研修等の人材育成事業を手がけるNYキャリアアカデミーを設立。TOEIC990点(満点)。ニューヨーク群馬県人会会長。



起業したことで仕事と育児の両立も効率的に。家族との大切な時間をゆとりをもって過ごせるようになった



毎回の施術で変化を実感 顧客の笑顔が最高の報酬

森脇 静香

easeNY オーナー
ライセンスドマッサージセラピスト

NYという土地に手応え

若い頃の私は、父が敷いたレールの上を歩いていました。父の紹介で入社した不動産会社でOLをして、自分では何もできないと感じていました。しかし、21歳の時に父が他界したことから、自分の人生を歩いてみようという気持ちになったのです。でも、何がやりたいかも当時は分かりませんでした。それで英語を勉強すれば、将来の可能性が広がるかもしれないと思い、海外に出ることを目標にするようになりました。

そのためにたくさんのバイトをしました。不動産会社に勤務しながら、デパートの販売員、パーティのコンパニオンやバーなどで働き、1991年のゴールデンウィークに、バイト先の先輩が留学していたニューヨークに遊びに来たんです。彼女はすでに日本に帰国していましたが、残っていた先輩の友人を紹介していただきました。ニューヨークには10日ほど滞在したなかで、ここだったらやっていけそうだという手応えを得ました。

戻ってからは、正月とお盆の2日以外働きました。そして400万円ほど貯め、本格的に渡米したのは1992年3月。渡米数カ月で前の夫とも出会い、彼や多くの日本人の友人に助けられました。苦労という苦労は感じたことはなかったですね。逆に今の方が経営者としての問題に関して、苦労を現実的に感じるようになっていきます。

マッサージの勉強を始めたのは、11歳の時に受けた手術後に右半身が麻痺してしま

ったことから、マッサージや鍼を週1、2回のペースで受け続け、長年、私自身の生活の一部だったことが背景にあります。ニューヨークに渡ってから、ある方の手をマッサージして差し上げたら、「学費を出してあげるから、絶対にマッサージの学校に行きなさい」と言われたことがきっかけになり、その後しばらくしてクラスを取ってみたら、楽しくて、そのまま没頭してしまっただけです。

さらにそのクラスの主宰だった先生の下で働くようになった後、1999年からはスウェディッシュ・インスティテュートというマッサージの大学に通いました。それまでは東洋式で施術を行っていましたが、そこで習った西洋式をミックスさせて、今のお店で提供しているオリジナルセラピー、ease therapy®を誕生させました。

3カ所のサロンで売上1位

大学で学位を取得した後、同時並行で3カ所のサロンでセラピストとして働き始めました。私の目標としてはすべての店舗で売上が1位になったら、独立して店を構えることでした。そして、9カ月でそれを達成したのです。

肉体的に、また精神的に辛くなかったか？ それはなかったです。やらなくちゃいけないからやっていたわけではなく、自分でやりたかったから

やっていたんです。独立するために結果を早く出したかった。それぞれのサロンで予約は常にパンパンで、それだけ働くことで私の経験値はどんどん上がっていききました。心が折れたら休めばいいだけですが、私にそういうことは起こりませんでした。

店を開けた当初、施術師は私1人だけでした。働いていたそれぞれの店からお客様が来てくださって、さらに新しいお客様をご紹介いただく形で、顧客数が増えていきました。お店を始めて18年目、クライアントリストの顧客数は3万名です。しかもそれは、途中からデータをコンピュータに残し始めてからの人数です。今ではスタッフの数も10数名になりました。私は今でもセラピストとして現場に出ています。媒体やネットでニューヨーク市内のベストマッサージ店に5回選出されました。

この仕事のやりがいは、1回ごとの施術で結果を実感できるということです。お客様に毎回喜んでいただき、「ありがとう」と



サロンでの施術の様子。現在も現場でセラピストとして顧客の施術を担当

何度も言っていたことで、施術している私の方まで癒されています。たとえばデパートで販売員をしていますが、扱う商品すべてを好きでやっているわけではないし、好きな商品売り切ってしまうと次は何を売ればいいのかという気持ちになりましたが、マッサージの仕事はどれだけやっても終わりはありません。楽になっていただくために、お客様には何回来ていただいてもいいのです。

日本人の美徳をアピール

現在はセラピストとして、経営者として、またセラピストの育成を行う講師として過ごしています。今年の6月には東京、白金に隠れ家サロンをオープンしました。これまでも駐在が終わって帰国されたお客様を対象に、日本で年に2回、出張でマッサージを提供していました。当店で学んだ生徒さ

んが手を挙げてくれたことで、東京でも施術できるようになりました。

これからアメリカで起業したい、夢を叶えたいと希望されている方へのアドバイスとしては、まず、場所によってエネルギーが違うので、自分に合った場所で挑戦すべきだということです。私にはニューヨークが最適でしたが、人によってはサンフランシスコだったりロサンゼルスだったり、エネルギーが合う場所があるはずです。

そして、私がビジネスを続けてこられた経験から良かったと思えるのは、日本人の美徳を認めてくれるアメリカ人が多いということ。アメリカに同化するのではなく、日本のいいところをアピールすることで認めもらえる可能性が高いと思うのです。アメリカ人と同じようにやるのではなく、差別化のために日本人の特性を活かして勝負するのがいいと思いますし、それが大きな武器になると信じています。

easeNY

<http://www.easeny.com>

<http://www.nyeasetherapy.com>

PROFILE

福岡県生まれ。OLを経て1992年に渡米。スウェディッシュ・インスティテュート・カレッジ・オブ・ヘルスサイエンスのマッサージセラピスト科を卒業後、前身の ease salon and massage LLC を設立。2012年には ease WORLD LLC を設立。経営と施術のかたわら、日米で後進の育成に励む。



施術師、経営者として忙しく過ごす一方、講師としてもみずから開発したセラピーを、後進に指導する

Los Angeles

顧客のビジョンを具現化 夢はホテルのデザイン

星野 和子

スタジオ・ウィリアム・ヘフナー
インテリア部門プリンシパル



ゼロからクリエイト

アメリカに来る前は跡見学園で、彫刻を専攻していました。もともと海外でアートを勉強したくて、大学卒業後はお金を貯めるために貿易会社でエグゼクティブ・セクレタリーのような仕事をして働きました。

ロサンゼルスに来たのは1991年です。最初はコミュニティカレッジに通い、さらにアートのクラスも取りました。そして、グラフ

ックデザインの教授から勧められたカルステート・ノースリッジのインテリアデザインのクラスを取ったところ、興味を引かれました。そのクラスの教授にはUCLAに行くといいわれ、私のために推薦状も書いてくださったんです。UCLAでは、自分の将来の仕事はインテリアデザインだという手応えを得ました。デザインの仕事では、白いキャンバスを土台にそこから何でもクリエイトできます。なかでもインテリアデザインは規模

が大きく、いかに空間をデザインするかで、そこに暮らす人間の心理にも影響を与える点で大きなやりがいを感じられると思えました。

UCLAのコースを修了したのは1996年でした。最初はインテリアデザインの会社に就職、その後、ウェストハリウッドにあるデザインセンターのショールームで働き始めました。その時にはタイのシルクの工房に出かけて色を選んだり、ヨーロッパに行っ



夫のウィリアム・ヘフナーさんは会社の代表兼建築家。「夫婦一緒に働くのは良くないと思ったが、やってみたら成功した」

てファブリックをデザインしたりと、貴重な経験を積むことができました。

不況時にはスランド再構築

ウィリアム(和子さんがインテリア部門の責任者を務めるスタジオ・ウィリアム・ヘフナーの代表で建築家)とは1997年に結婚しました。最初は別々に働いていたんですが、ウィリアムからインテリアを頼まれて、韓国の財閥の邸宅のプロジェクトと一緒にやったんですね。夫婦で同じ会社で働くのは良くないんじゃないかって思っていたけど、やってみたら大丈夫だったんです(笑)。だから、1998年にウィリアムの会社に入社して以降、インテリアデザインとランドスケープを手がけるようになりました。私が入った当時はスタッフの人数は10人でしたが、20年後の現在は40人です。

大変な時期? それはやはり、2008年のマーケットがクラッシュした時期です。不動産市場も停滞してしまい、私たちが進めていたプロジェクトのほとんどがストップしてしまいました。そんな時に何をしたらかというと、1年間かけて、会社のreinvent(改革)を実行したのです。まず、それまでウィリアム・ヘフナー・アーキテクチャーだった会社名をスタジオ・ウィリアム・ヘフナーとすることで、建築だけではなく、インテリアもランドスケープも包括的に任せられる会社だというイメージを打ち出したこと、さらに

ロゴも変え、ウェブサイトを作り直しました。ひたすら、市場が盛り返す時に備えて一生懸命に準備をした1年でした。確かに経済的には簡単ではありませんでした。数人のスタッフをレトゴーストすることにもなりました。それでも、もともとうちのスタッフは皆、長いんですよ。10年以上勤続している人が多く、17年という人もいます。

壁は絶対に克服できる

プロジェクトは大小含めて、60件くらいは同時進行しています。昨年、担当した、あるクライアントのインテリアデザインの予算は200万ドルでした。ご自宅の建設費用自体に2000万ドルかけていました。大きな金額ですし、私も、いかにクライアントをハッピーにすべきかを考えています。自分の仕事がサービス業であり、お客様あってこそだと認識することが重要です。たとえば、イタリアのルネサンス期のメディチ家と建築家ミケロツォとの関係。顧客のビジョンを具現化するのが建築家の役割です。その結果、あのような素晴らしい、後世に残る建築物が完成したのです。ですから私も、お客様が何を求めているのか、それを徹底的にヒヤリングして、それをどのように形にするのかを模索します。そのためには、お客様が日々どのように過ごしているのか、自宅にゲストを呼ぶ際には何をしてもてなすのか、何人招待するのか、スタイルはカジュアルかフォーマルか、すべてにわたって知る必要があります。クライアントの話を聞くのは、ウィリアムがとっても上手なんです。私はそれをそばにいて聞きながら学んできました。そして、家が完成してハッピーになったクライアントは、友人に

私たちのことを薦めてくれます。「家を建てるなら、絶対に彼らでないといけない」と言ってくれるのです。

今後の夢はホテルのデザインを手がけることです。いつかやりたいです。夫婦で旅行する時も、勉強のためにいいホテルに泊まるようにしています。東京のアマンリゾートなどは、あの空間に足を踏み入れた瞬間に自分の何かが目覚めるような、インスピレーションを感じます。そういう空間を自分でクリエイティブしたいです。

これからアメリカで自分の仕事で夢を掴みたいと思っている方へのアドバイスは、ただ、“Keep working hard, never give up (一生懸命働き続けて。諦めないで)”ということ。ダメかなと思っても、壁にぶつかっても、それを克服することは絶対にできます。私は自分が挑戦したいことに対して人に「それはダメでしょう。無理でしょう」と言われても、どうしてそんなことを言うんだろうかと思ってしまいます。私のポキャブライリーにそのような言葉はないのです。

Studio William Hefner
<http://williamhefner.com>

PROFILE

東京生まれ。跡見学園女子大学文学部人文学科を彫刻専攻で卒業。1996年 UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) のインテリアデザイン・コースを修了。1998年にロサンゼルス建築事務所ウィリアム・ヘフナー・アーキテクチャーに入社し、インテリア部門の代表を務める。10歳の男の子を持つワーキングマザー。



みずから手がけた中庭がある個人の邸宅。常に60件のプロジェクトが進行中



世界を照らす希望の象徴 自由の女神像

ニューヨーク州

世界遺産とは●地球の生成と人類の歴史によって生み出され、未来へと受け継がれるべき人類共通の宝物としてユネスコの世界遺産条約に基づき登録された遺産。1972年のユネスコ総会で条約が採択され、1978年に第1号が選出された。2018年1月現在、167カ国で1073件(文化遺産832件、自然遺産206件、複合遺産35件)が登録されている。

242年前の7月4日、アメリカはイギリスからの独立を表明した。植民地だったアメリカがイギリスからの独立を求めて戦った時、唯一援軍を送ったのがフランスだった。独立宣言から100周年を記念して、1886年に友好の印としてフランスから届いた贈り物が、今や世界の誰もが知る「自由の女神像」だ。この女神像は国ではなく、フランスの市民たちが資金を集めて建造した、まさに信頼の証と言えるだろう。

ニューヨークはマンハッタンから約2マイル離れたリバティ島に立つ女神像の正式名称は、“Liberty Enlightening the World”(世界を照らす自由)。右手には自由を象徴する松明を掲げ、左手には独立記念日である1776年7月4日が記された銘板を抱えている。女神の足に踏みつけられているのは、弾圧や暴力からの解放を意味する壊れた鎖。さらに、頭には7つの大陸を象徴する突起が7つ付いた冠を被っている。足元から頭までの高さはおよそ111フィート。松明の先端まで入れると、約151フィートにもなる。重量は225トン。フランスからアメリカへの輸送時は

350ものピースに分解され、214箱に梱包して運ばれたという。

設計と建築を手がけたのは、フランスの彫刻家であるフレデリック・バルトルディと、同じくフランス人の技師ギュスターヴ・エッフェルだ。鉄の骨組みをベースに、無数に分かれた銅板のピースを張り合わせてできた女神像。この巨大な像を支える複雑で緻密な構造は、工学や建築、アート分野の未来を切り開く先駆けとなった。アートと工学を掛け合わせた、今までにない新たな手法による19世紀の建築技術の傑作であると評価され、1984年に世界文化遺産に登録された。

リバティ島へは、マンハッタンとニュージャージー州の2カ所からアクセスできる。20分ほどフェリーに揺られていると、だんだんと距離が近づくにつれて迫りくる女神像の巨大さに圧倒されるだろう。自由の女神といえば、エメラルドグリーンの像だ。しかし、実はフランスから贈られた当初、この銅像は赤茶色だった。銅の性質上、徐々に酸化して今のような色になったという。

女神像は、頭の上の冠部分まで上ること



自由のシンボルであり、ヨーロッパから来た移民たちを導く灯台の役割も果たした「自由の女神像」



台座内部に展示されている、初代の松明。電気が通り、明かりがつくようになっていた



春になると、リバティ島では桜が開花する

ができる。リバティ島に着いたら、まずは像を支える台座の内部へ。ロビーに飾られているのは、女神が掲げていた初期の松明。現在手に持っている松明は、1986年に置き換えられたものだ。館内には、女神像の立案から現在に至るまでの歴史を学べる資料が展示されている。ここから冠までは、頭上高く続く377段の螺旋階段を上って行く。薄暗い階段を上りきると、外の光が差し込む冠の内側に到着。冠部分は窓になっており、マンハッタンやブルックリンなど、周囲の景色が女神と同じ目線で一望できる。

館内にはレンジャーがおり、自由の女神の歴史や豆知識などを教えてくれる。女神像の観光は人気が高いので、事前にチケットを予約しておくのがおすすめだ。

遺産プロフィール

自由の女神像

Statue of Liberty

登録年 1984年

遺産種別 世界文化遺産

<https://www.nps.gov/stli/index.htm>

文/齋藤春菜 ●物流会社で営業職、出版社で旅行雑誌の編集職を経て渡米。思い立ったら国内外を問わずふらりと旅に出る。その地の文化や人々、景色を写真に収めて歩く。世界遺産検定1級所持。



・ 専門家に聞く ・

帰国生受験の傾向と準備

駐在家庭の帰国にともなう子女の日本での受験、またアメリカ生まれであっても日本の大学への入学を希望する子女のための受験準備をテーマに、親として知っておきたい受験の現状と今後の傾向、今から始めるべき対策について取材した。

Text by Keiko Fukuda (SAPIX 国際教育センター、駿台国際教育センター)
Haruna Saito (ena国際部)



受験生に求められるもの

一部の国公立・私立中学校では、何らかの形で帰国生を対象とした入学試験を実施している。帰国生入試の導入校は、首都圏だけで約60校にもなる。帰国生の要件は、募集する中学校によってさまざま。比較的多い要件について、SAPIX国際

教育センターの島村幸明^{ゆきひろ}さんは次のように語る。「海外滞在期間が1年ないし2年以上、日本に帰国後2年ないし3年以内といった要件が多いです。なかには単に『海外在留経験のある者』や『帰国後の期間は問わない』といった条件を設けている中学校もあります」。

では、帰国生を受け入れる日本の中学校は、どのような生徒を求めているのだろうか。「試験教科に英語が課される場合もあることから、帰国生の持つ多様なバックグラウンドや、高い英語コミュニケーション力、帰国生と一般国内生が交流することで生まれる効果を期待していると考えられます。ただし、受験生側が注意しなくてはならないのは、英語以外の教科の学習も、たとえ試験教科になかったとしても長い目で見たら必要になるということです。入学後に席を並べる多くの同級生は、4教科(算数、国語、理科、社会)を学習してきた日

本の国内生で、入学後の授業は国内生の学力水準をもとに行われます。さらに6年後には大学受験をする可能性があることも踏まえ、国内生に引けを取らないだけの学習を積み重ねておくことが大切です」と島村さん。

では、果たして学校側が期待する「高い英語力」とはどれくらいのレベルなのだろうか。SAPIX国際教育センターの小森慎一さんは「中学受験の場合、英検2級保持者の帰国生受験の合格率は約半分、準1級で70%」と回答。つまり、準1級以上の取得が望ましいとされる。

ここ数年の入試傾向

「一般生入試においても、試験教科として英語を導入する学校の割合が高まっています。首都圏の私立中学校の一般生入試で何らかの形で英語を導入する学校の数



は、2014年度入試では20校弱だったところが、2018年度入試では120校ほどに上っています。首都圏の国・私立中学校の数は約300校あり、首都圏全体の3分の1を超える状況です。背景には、2020年から全面実施が予定されている次期学習指導要領の改訂があると考えられます。これにより、小学5・6年生では英語が週2コマの教科として扱われ、教科書を使用し、成績として評価されます。つまり、帰国生についても以前に比べて一般生入試を受験しやすい環境が整いつつあるのです。その結果、帰国生入試と一般生入試を併願した中学受験が増えていきます。一方で、トップクラスの難関校については一般生入試での英語の導入例は少ないのが現状です。引き続き、人気校における帰国生入試の難化と、一般生入試での英語導入の傾向が続くと見込まれます」(SAPIX国際教育センターの島村さん)

学校選びのコツ

島村さんは志望校選定の要素について、教育理念、大学進学実績、口コミ・評判、家からの距離・通学経路、男子校・女子校・共学校・附属校、宗教的な背景(ミッション系など)、校風・在校生の様子、制服、

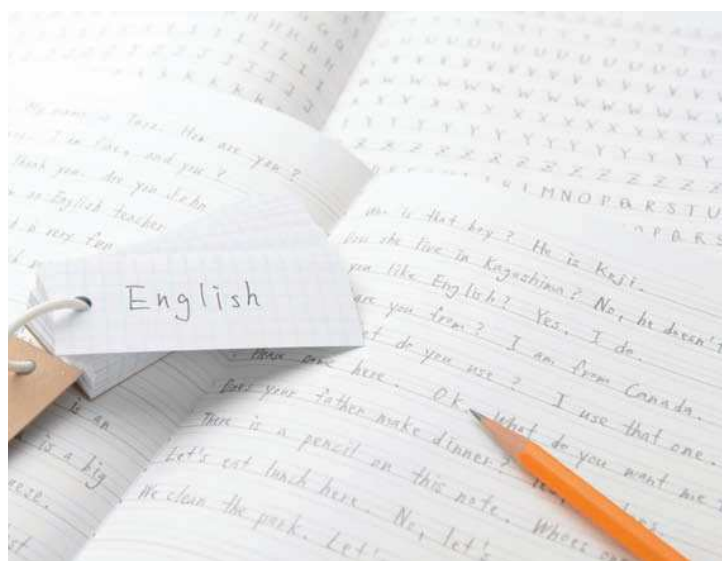
ブランド、偏差値を挙げ、もっとも重要なものは「教育理念」だと断言する。

「どのような理念のもとに学校の先生が生徒を指導しているのか、学校説明会や文化祭などに赴いて確認することをおすすめします。海外にいるため学校説明会などになかなか参加できない場合は、ホームページで学校の沿革、創立の思い、校長からのメッセージなどを確認するところから、学校選びをスタートさせると良いでしょう。クチコミ・評判については注意が必要です。特にネットのクチコミ情報はそのまま信用することはできません。良くてせいぜい一個人の体験に基づく感想に過ぎず、多くの場合は体験ですらないことがほとんど。また、知人から聞いた情報だとしても、あくまで個人の主観的な感想であること、そのまま自分のこどもに当てはまることは限らないことに留意が必要です」

また、「ブラン

ドによる学校選びなどもってのほか」かという点、実はそうでもない島村さんは語る。「ここでのブランドとは、世間的な評価ではなく『親も子も満足して通える学校かどうか』『卒業した後も誇りに思える学校かどうか』という意味です。自身の母校に我が子も進学させたいとお考えになる保護者は多く、こういった観点からの学校選びも一つの在り方です」。

以前は「帰国生入試は一般生入試に比べて易しいから有利」と言われた時期もあったが、現在は、少なくとも人気校についてはそうともいえない状況になっていると島村さん。「実際のところ、同一の学校について、帰国生入試で合格した生徒の平均偏差値と一般生入試で合格した生徒の平均偏差値を比較した場合にあまり変わらないことや、学校によっては帰国生入試の方が高いケースが、特に人気校で多く見られます。これは、募集定員が少ない一部の人気校に全世界から受験生が殺到することに加え、早期帰国生の存在があるためです。早期帰国生とは、小学4年生くらいまでに帰国し、一般受験生として4教科の受験勉強をこなしたうえで、受験資格を生かして帰国生入試にも参入する受験生を指します。つまり、帰国生入試のライバルは世界のみならず、日本国内にも多数いるということです」。





高校受験

High School

受験生に求められるもの

帰国生入試を行う高校の狙いについて、SAPIX国際教育センターの小森さんは次のように語る。「日本ではできない経験を経てさまざまな価値観を持った生徒を受け入れることで、国内で育ってきた生徒たちにもグローバルな視野を身につけてもらいたいという意図はあると思います。また近年は、日本人学校ではなく現地校やインター校に在籍して、非常に高い英語力を身につけたうえで帰国する生徒が多くなっています」。

中学受験の項で触れたように、高校受験でも帰国生には英検準1級以上の取得が必要最低条件であると言える。ただし中学受験とは異なり、大半の高校では帰国生入試でも英語を含め一般入試と同じ筆記試験が課されるため、一部の難関校を除けば英検2級レベルでも十分だろう。また、英検のほかTOEFLやTOEICのスコアでも良いという学校もある。

「グローバルな視野」を身につけるため、アメリカ滞在中にどのような経験を積んでおいた方がいいかを小森さんに聞くと、「現地の方々との積極的な交流を図ること、異文化体験の機会があれば積極的に参加することです。帰国生に話を聞くと、海外では多様な習い事をしていたという生徒が少なくありません。スポーツのチームに入るなど、現地校以外の活動は重要だと思いま

す」と課外活動への参加を挙げた。さらに、自己主張と同時に協調性も求められていると付け加えた。

受験資格に要注意

帰国生入試の要件は各校で異なるが、大半の高校は、受験学年の3月時点で義務教育9年に相当する課程を修了または修了見込でなければ受験資格は得られない。小森さんによると「欧米の現地校やインター校は9月開始で6月修了が一般的であるため、生まれ月によっては、3月の時点では9学年未修了であり、受験資格が得られないことになります。そのため多くの生徒は中学3年生になると、現地校やインター校から日本人学校に転入、または日本に帰国して公立中学校に転入し、受験資格を得て受験に臨んでいます」ということだ。

受験に向けての準備

海外の主要都市では、帰国生とその親を対象とした受験準備のセミナーが、学校や予備校の主催で開催される機会が多い。そのようなセミナーへの参加と、同じ地域



から帰国受験した先輩から情報を得ることを小森さんはすすめる。

また中学入試同様に、一般生入試に比べて筆記試験の科目数や合格基準点などで優遇されていると思われがちだが、決して「帰国生入試であれば絶対に合格できる」というわけではない。「入学後、大半は一般生も帰国生も同じクラスで同じ授業を受けなければなりません。帰国生入試の優遇に安心することなく、一般入試でも合格できるだけの学力を身につけたうえで受験することが望ましいと言えます。理科や社会についても、インターネット環境の普及を背景に、現地滞在中からしっかり学習をして受験に臨むことができるようになったことは、『将来は日本の国公立大に』あるいは『大学は再び海外へ』といった志をもった生徒にとっては、追い風になっています」(SAPIX国際教育センターの小森さん)。

高校の帰国生入試・受験日程のパターン

11～12月

ロンドン、ニューヨーク、シンガポールなどで入試を行う学校が増えている。現地滞在中に、そのような学校を受験する生徒も増加傾向に。

1月

中旬に千葉県内の私立高校(渋谷教育学園幕張、市川学園)、下旬に早慶附属高校の推薦入試や中央大学杉並高校の帰国生入試、国際基督教大学(ICU)高校の書類選考入試や青山学院高等部の帰国生入試を多くの帰国生が受験。

※首都圏であれば入試日程が重複しない学校も多いため、さまざまなパターンで受験することが可能。例年、出願数は平均7校。

2月

男子の附属校志望者は早慶附属高校、進学校志望者は開成高校や筑波大学附属駒場高校、都立日比谷高校などを受験。開成高や日比谷高には帰国生入試の設定がなく5科目の一般入試となるが、毎年、多くの帰国生が合格を勝ち取っている。

女子は慶應義塾女子高校や早稲田実業高校、早稲田大学本庄高等学院のほか、慶應義塾湘南藤沢高校や東京学芸大学附属高校、都立西高校や都立日比谷高校、豊島岡女子学園などが人気。

提供：SAPIX国際教育センター



大学受験

University

ここ数年の入試傾向

大学の帰国生入試におけるここ数年の変化について、駿台国際教育センターの高島秀行さんは次のように説明する。「日本の入試制度自体が多様化しており、英語重視の傾向が強まってTOEFLなどの語学試験の提出を必須とする大学が増えています。また、AO入試の実施大学、学部が増えた結果、帰国入試がAO入試に統合または廃止となるケースも増えました。国際化によって日本国内にも国際感覚や十分な英語力を持つ学生が増えたことから、帰国生だけにそれらを求めなくてもいいという大学側の姿勢の表れとも捉えられます。ただし、海外における貴重な体験は日本国内の学生には経験できないことですから、帰国生入試やAO入試においては、その部分を強調することが今後は特に重要となります」。

大学入試ではこれまで以上に「海外における貴重な体験」が重要視される傾向があるようだ。さらに、国際色を強調する学部が近年多く開設されているのも、ここ数年の日本の大学の間接的な変化だと高島さんは説明する。

「青山学院大学の地球社会共生学部、学習院大学の国際社会科学部などです。学習院の同学部に関してはAO入試のみの実施で、帰国生入試はありません。また、2019年度には東京外国語大学に国際日本学部が誕生します。英語力や海外体験が

生かせる学部を受験するチャンスが増えたと言えます。さらに今後も、センター試験の英語の改定や外部語学試験の導入、主体性や協調性の重視など、一般入試においても帰国生にとって取り組みやすい環境が整っていくものと予想されます」

異なる対策と求められるもの

大学入試は国立・私立によって対策が異なる。「国立に関してはレベルにもよりますが、日本語の実力は重要な評価対象となります。特に小論文対策が重要。漢字の読み書きができるのはベースラインで、あとは日本語で論理的に説得力のある文章を書く力が必要となります。日記程度ではなく、きちんと順序を踏まえた論理的な文章を書く力を身につけておきましょう」とアドバイスするのは、ena国際部の高橋清志さん。対策としては、定期的に過去の受験問題集から小論文や作文の課題に挑戦することが良いという。「問題の多くには課題文がついていて、その内容に沿って書かなければならないので、普段使わない語句を使って語彙を広げる練習になります。また、読書も有効。自分が入りたい学部の分野に関係のある本を、必ず数冊は読んでおきましょう」。

文系・理系での違いはどうだろうか。「文系であれば基本的に英語、国語、小論文ができていれば問題ありませんが、理系は話が別です。帰国生入試であっても、現地校の勉強のやり方では日本の大学入試の理数科目の問題は解けません。早い段階から、できればハイスクールに入学した

時点から、日本の高校理科の勉強に取り組んでおくことをおすすめします」。

大学受験で帰国生に求められる要素として重要なのが、英語力と日本語力。帰国生入試では、語学の成績と面接、そして小論文が評価対象となる。「英語に関しては、TOEFLのスコアが必須です。最低水準は70点、あとは大学レベルによって必要なスコアを確認して、クリアできるようにしておきましょう。SATスコアの提出は要求しない大学もありますが、『提出が望ましい』としている大学には必ず提出すべきです。慶應義塾大学を志望するのであれば、1350点以上が必要となってくるでしょう。日本語力としては、小論文を書く文章力とともに面接でアピールする力が必要。日本語力は入試だけでなく、入学した後の授業や定期試験でも重要です。そういった意味では、入学後も授業についていけるだけの十分な日本語力を身につけることが大事」と、高橋さんは言う。

駿台国際教育センターの高島さんによると、大学が帰国生に求める主体となる要素は3つ。「語学能力、論理的思考を含む表現力、そして大学での学びに必要な基礎学力です。語学力には、TOEFLなどの語学試験の成績や日本語での小論文が含まれます。表現力は小論文や面接において重視されます。基礎学力は特に理系の学生に強く求められ、学科試験で大学入学





後の学びや研究にきちんとついていくことができるかどうかを測られます」。

準備に関して、高島さんは「多くの場合は最終学年の1年を十分に使い、受験年の5～6月までに語学試験を出願に適うスコアまで引き上げます。アメリカ教育制度の学生が慶應義塾大学に出願する場合は、SATのスコアとTOEFLのスコアの提出が必須です。海外滞在期間にもよりますが、通常は最終学年で取り組んでも十分に間に合います。ちなみにSATとTOEFL、ともに受験年の6月までのスコアも有効です。日本語に関しては、英語での学びを優先したうえで、時間的余裕が見つけられれば読書、ニュースのチェック、社説の書き写しなどで維持伸長を図ります。また、読書やニュースなどで得た知識をもとに、ご家庭などで日本語でそのトピックについて話し合うことも有効だと考えられます」とアドバイスする。

入学時期と受験準備

6月、帰国生たちは海外の高校を卒業し、日本に戻ってくる。駿台国際教育センターではそのタイミングに合わせて大学受験対策講座を開始する。早いところでは9月から入試が始まるため、「まさに短期決戦」だと高島さんは言う。しかし、前述のようにそれより前の段階で準備を開始すべきであるとも強調する。

「アメリカの高校では、シニアの中期から後期、現地の生徒たちの進学先が決まり落ち着いた雰囲気になると聞きます。それ

によって、日本の大学の入試を受ける帰国生たちの気が抜けることも少なくないようです。緊張感を保つためにも早めに入試対策の塾や予備校に連絡を取り、登録者専用の情報ページにログインして情報を収集したり、カウンセラーにメールで相談したりするなど、準備を心掛けましょう。卒業する年の1月が開始時期としてはおすすめです」

4月入学以外にも帰国生にとって嬉しいのが、英語で学ぶコースを設置した9月入学の大学学部が増加中だという点。国際基督教大学(ICU)、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学などに秋入学の学部がある。その場合、高校を6月に卒業した帰国生も、夏休みが終わった9月に入学できる。ただ、ena国際部の高橋さんは、9月入学はあまりおすすめしないと言う。「国際基督教大学は6月卒業も実施されていますが、早稲田大学教養学部はまだその制度が整っておらず、3月卒業となります。そうすると、9月に入学したら半年長く大学に通わなければいけません。さらに日本での就職を考えた時に、4月入社を基準に新卒

の採用面接を行う会社がほとんどである現在、秋に卒業できたとしても入社のタイミングが合わなくなります。そう考えると、6月に高校を卒業して、翌年春入学の入試が実施される9月までの間、しっかりと勉強して望んだ方が効率的だと考えます」。

最後に、単独で準備に取り組むよりも予備校や塾で受験対策に臨むメリットについて、駿台国際教育センターの高島さんに聞いた。「まず、何事にも対策を立てるにはデータが必要ということです。当センターには毎年多くの帰国生が在籍する

ため、年度ごとの入試の傾向を事前を知ることが可能であり、また、過去の実績をもとに帰国入試特有の事例や、トラブルが起こった際の対処法など細かい点まで情報を提供することができます。もう1つは学習面。小論文などは講師が客観的に評価、指導することで短期間でも伸びが見込めます。ポイントを押さえた面接の練習も可能です」。さらに、どういった帰国生が短期決戦で伸びを見せるかを過去の経験から聞いた。「高い目標を掲げ、地道に取り組める生徒。そして、海外生活を通じて得られたことを自分なりに評価、分析し、思いを的確に伝えられる生徒だと思います」。

秋は目前、最終学年の生徒たちはスタートダッシュの時期を迎える。

取材協力

S A P I X 国際教育センター
<http://kokusai.sapix.co.jp>

駿台国際教育センター
<http://www.sundai-kaigai.jp/kokusai/>

ena 国際部
<http://www.ena-kikoku.com>

帰国受験にも影響を与える？ 日本の教育界を取り巻く変化

- ❑ ① 2020年度から現行の「大学入試センター試験」に代わり、新テスト「大学入学共通テスト」を実施。
 - ❑ ・国語、数学に記述式問題を導入。思考力、分析力、表現力を問う内容になる。
 - ❑ ・英語はマーク式の試験に加えて外部検定試験を併用。4技能（読む、聞く、書く、話す）を測る。
- ❑ ② 学習指導要領の改訂（異文化理解・コミュニケーション力）
 - ❑ 小学5年生から英語を「教科化」。現在は移行期間中。
- ❑ ③ 少子高齢化（外国人労働者数の増加）
 - ❑ 英語の重要性が増し、大学だけでなく中高入試でも話す能力が試されるようになる。
- ❑ ④ シンギュラリティの到来
 - ❑ 文・理系に関係なく数学的思考ベースの入試問題の出題率がアップする可能性大。

提供：S A P I X 国際教育センター

プロテニスプレイヤー 錦織圭

安定のショットに闘志みなぎる



慈善イベントでの試合を楽しむ錦織圭選手

カリフォルニアで7月に行われたテニスの慈善イベントに、錦織圭選手が参加した。怪我からの復帰を果たし、好調ぶりを見せる彼の今後の意気込みとは――。

7月21日、錦織選手のコーチであるマイケル・チャンが主宰するチャリティ・イベントが、ニューポートビーチ市で開催された。毎年行われる同イベントでは、ワールドクラスの選手たちによるエキシビションマッチやUSTA(全米テニス協会)認定のトーナメントなどを実施。イベントによる収益は、ホームレスの状況にある人々に住居を提供するための支援活動を行うNPO団体「HomeAid Orange County」の活動資金に充てられる。

怪我からの復帰がプラスに働いた

錦織は昨年に引き続き、今年もエキシビションマッチに登場。彼は2017年の夏以降、右手首の怪我によりツアーからの長期離脱を余儀なくされたが、2018年1月に大会へ復帰、4月に開催されたモンテカルロ・マスターズ(モナコ)では準優勝に輝き、完全復活を印象づけた。さらに、7月上旬に開催されたウィンブルドン選手権(イギリス)で自身初となるベスト8進出を果たし、世界ランキング28位から20位へと浮上。「モンテカルロでの結果が自信につながる転機となった。スムーズで安定した良いプレーができました」と錦織は話す。右手首

の損傷について、「最初はここまで悪くなると思っていなかったのが驚いたし残念でしたけど、治療後、復帰に向けて自分のショットを一から見直すきっかけになりました。復帰当初はテニスを取り戻すのに大変な時期もありましたけど、サーブもガラッと変えて、今はどのショットもしっかりきているのでプラスに変えられた

と思います」と前向きな姿勢を示した。

さらなる高みを目指して

今後は7月30日に開幕したシティ・オープン(ワシントンDC)に出場、そして8月27日からは今年の4大会の最後を飾る全米オープン(ニューヨーク)への出場も控えている。全米オープンといえば、2014年には準優勝という好成績を収めた錦織。今の調子や心境について、「いろいろ経験して、どのショットも安定感が出てきて磨かれていると感じています。また決勝に行くのが今の一番の目標」と意気込みを語った。同席したマイケル・チャンも、「ここ数カ月で彼は明らかに進歩しているし、どんどん自信もつけている。今年の夏は好調に進むだろう」と自信を示した。

当日のエキシビションマッチで錦織は終始リラックスした様子で、時折笑顔を見せながら試合を楽しんでいる姿が印象に残った。これから始まるハードコートシーズン、どんな熱い戦いを見せてくれるのか、期待が高まる。



コーチでありイベント主宰者でもあるマイケル・チャン(右)とともに

Text & Photo by
Haruna Saito